



- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ご使用前に「**安全上のご注意**」(→ 右記)を必ずお読みください。
 - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
 - ワイヤレススピーカーをご使用にあたっては、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器が必要です。
 - 製品のイラストは、実際と異なる場合があります。

調光機非対応

保証書付き

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒 571-8686 大阪府門真市真 1048
© Panasonic Corporation 2021

TQBM0731
F0121MH0

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
	お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)	
	してはいけない内容です。	実行しなければならぬ内容です。

警告

- 異常・故障時は直ちに使用を中止する**
 - 異常があったときには、ソケットから取り外す**
 - 煙が出たり、異常なおいや音がある
 - 音が出ないことがある
 - 内部に水や異物が入った
 - 本体が破損した
 - そのまま使うと火災・感電の原因になります。
 - 本機に異常があるときは電源を切って、販売店にご相談ください。
- 取り付けピンを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張るなど)傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- ソケットの定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない
定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

- 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりめらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところで使用しないでください。

- 本機を使用時は、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで本機を使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

- 病院内や医療用電気機器のある場所では使用しない
本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- 航空機内で使用しない
本機からの電波が連航の安全に支障をきたすことがあります。
- 本機は可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
火災や爆発の原因となります。
- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。
- 本取扱説明書で指示した以外の取り付けは行わない
落下したり、破損して、けがの原因になることがあります。

- 荷重に耐えられない場所に取り付けない
落下したり、破損して、けがの原因になることがあります。
- 分解、改造をしない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 分解禁止
- ぬれた手で、ソケットへの取り付け、取り外しをしない
感電の原因になります。

- 雷が鳴ったら、本機に触れない
感電の原因になります。

- 接触禁止
- ソケットに確実に装着する
装着が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因や落下したり、破損して、けがの原因になることがあります。

- 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 程度以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

- 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
 - 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
 - 高温の蒸気や外装ケースが変形し、内部部品が破損すると火災・故障の原因になることがあります。また、端子などに油煙やほこりがたまり、故障の原因になります。
- 本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない
本機の磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなる可能性があります。
- 長期間使わないときや、お手入れのときは、ソケットから取り外す
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

仕様

■ 総合	
電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	5 W
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	70 mm × 70 mm × 66 mm
質量	約 215 g
許容動作温度	5 °C ~ 35 °C
許容相対湿度	35 % ~ 85 %RH (結露なきこと)
■ アンプ部	
実用最大出力	5 W (1 kHz、T.H.D. 10 %、6 Ω、20 kHz LPF、JEITA)
■ スピーカー部	
形式	1 ウェイ 1 スピーカー、密閉型
スピーカーユニット	4 cm コーン型フルレンジ
インピーダンス	6 Ω
■ Bluetooth® 部	
バージョン	Bluetooth® Ver. 5.0
送信出力	Class 1
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	SBC
通信方式	2.4 GHz Band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m *
登録機器台数	最大 8 台 (観機モード時)
グループ設定	4 種類
* 温度 25 °C、高さ 1 m の条件で測定	
● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。	
● 定格銘板は、本体の天面にあります。	

使用上のお願い

- Bluetooth® について
- 使用周波数帯
本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。
- 周波数表示の見かた
本機が 2.4 GHz 周波数帯を使用する FH-SS 変調方式を採用した無線設備で、電波干渉距離が約 10 m 以下であることを意味します。
※ 1 2.402 GHz ~ 2.480 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- Bluetooth® 機器使用上の注意事項
- この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場・製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。
- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記との連絡先にご連絡いただきます。最低回避のための処置など (例えば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。
- 連絡先: パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター (→ 右記)

- 機器認定
● 本機は、電気通信事業法の認証を受けたモジュールを搭載しています。
- 本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解 / 改造する
 - ・ 定格銘板を消す / はがす
- 使用制限
● 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 使用可能距離
見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 他機器からの影響
● 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。
 - ・ 電子レンジ
 - ・ デジタルコードレス電話機
 - ・ その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く (ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)● 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 放送局などが近くにあり周波数の電波が強すぎる、正常に動作しないことがあります。
- 用途制限
本機は一般用途を想定したものであり、ハイスピード用途® での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイスピード用途® に使用しないでください。
※ ハイスピード用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例: 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

ご使用について

- 使用、保管場所について
- 本機は室内で使用してください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い場所で使用したり、置いたりしない。
- ほこりの多い場所で使用したり、置いたりしない。
- 振動の多い場所で使用したり、置いたりしない。
- 風呂場など、湿気の高い場所で使用したり、置いたりしない。
- 取り扱いについて
- 落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

お手入れ

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布で拭いてください。
- ペンチン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、変色するおそれがありますので使用しないでください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

- 使いかた・お手入れ・修理などは
- **まず、お買い上げの販売店へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	()	—
電話	()	—
お買い上げ日	年	月 日

- 修理を依頼されるときは
「故障かな?」(→ 裏面) でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名	ワイヤレススピーカー
●品 番	<input type="checkbox"/> NTN88004W <input type="checkbox"/> NTN88004B
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中に本機が故障した場合は、お買い上げの販売店へご相談いただくか、右記のお客様ご相談窓口へご連絡ください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、ご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 保証の例外

- 24 時間連続使用など、1 日 20 時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。
- 専用器具以外に取り付けた場合、保証の対象外となります。

※ 補修用性能部品の保有期間 **[6 年]**

当社は、本製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するための部品) を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、右記のパナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター、パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口にご連絡ください。
- 本機の修理対応
- 本機は、製品を分解して部品交換を行うことはできませんので、修理対応に本体交換を行う為の部品 (ワイヤレススピーカー完成品) を準備しています。
- 故障が発生した場合は、部品 (ワイヤレススピーカー完成品) に交換いたします。

パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

お手入れ・お取り扱い・修理・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、以下の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト https://sumai.panasonic.jp/support/	365 日 受付 9 時 ~ 18 時
使い方・お手入れなどのご相談	
パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター	
フリーダイヤル (パナニ ナットク) ■ 左記電話番号がご利用いただける場合	06-6906-1109
0120-878-709	0120-872-460
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタン「[8]」と「[6#]」を押してください。(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)	
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	

※ ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によって、回線の混雑時に数分が切れる場合があります。※ 上記の URL はお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

ライフソリューションズ 修理サポートサイト <https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

修理に関するご相談	365 日 受付 平日 9 時 ~ 19 時 (日・祝・年末年始 9 時 ~ 18 時)
パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口	
フリーダイヤル (パナニ イコー) ■ 左記電話番号がご利用いただける場合	06-6906-1090
0120-872-150	

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただきます。このために発信番号を通知したいいております。なお、個人情報 を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

ご使用に関するお知らせ

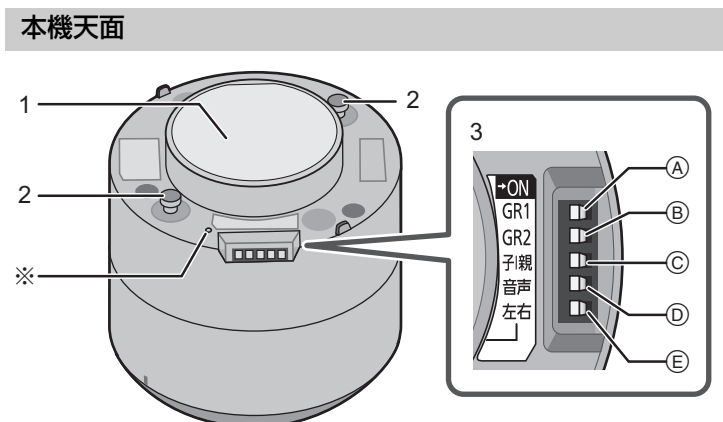
本機をご使用になる際、以下のような現象が発生することがありますが故障や異常ではありません。

- 器具自体の留意点
- 交流 100 V、周波数 50/60 Hz 以外で電源で使用しないでください。
- 周囲温度が 5 °C ~ 35 °C の範囲で使用してください。
- 本機は調光 (明るさが調節できる) 機能の付いた照明器具では使えません。
- 本機は屋外では使用できません。
- Bluetooth® 機器や再生する音楽、動画によっては、音割れや雑音が発生することがあります。その場合、Bluetooth® 機器側で音量を下げてください。
- Bluetooth® 機器側の音質調整で低域や高域を上げすぎると音がひずむことがあります。その場合、Bluetooth® 機器側の設定を調整してください。
- スピーカー間で音声がずれるときは、電源を入れ直したり、Bluetooth® 接続をやめ直してください。
- 壁スイッチが ON の場合、音声停止時も待機時消費電力を消費しています。
- 隣近所のワイヤレススピーカーとグループ設定が同じになっている場合は、誤接続して情報の漏えいにつながる場合があります。
- 外観などの仕様は、予告なく変更することがあります。
- 専用器具でご使用ください。現在ご使用されている器具の適合品番をご確認ください。
- 周囲の影響
- ラジオやテレビなどの音源および映像機器の近くで使用すると、雑音が入ることがあります。(雑音が入る時は本機から 1 m 以上離れてご使用ください)
- 本機の近くでは、バーコードリーダーが正しく読み取れないおそれがあります。
- 水のかかる場所や直接油煙・湯気がかかる場所に設置しないでください。音質が劣化する可能性があります。
- スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。スピーカーの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなる場合があります。
- スピーカーの音量を上げすぎるとスピーカーの振動が壁上の床面に伝わりやすくなります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。 適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。 特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。 音のエチケット シンボルマーク

各部のなまえ

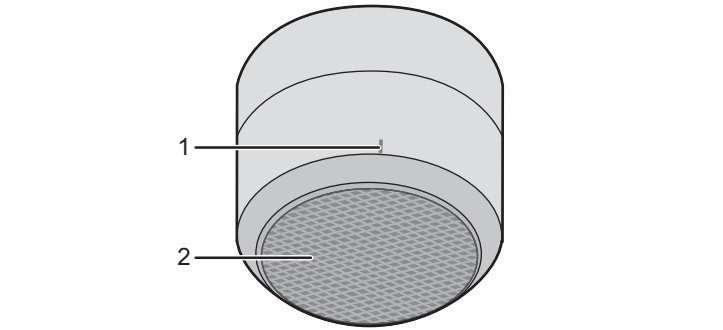


- 1 定格銘板
- 2 取り付け用ピン
- 3 設定スイッチ (→「本機を設定する」(右記))
 - ①「GR1」: グループ切換スイッチ 1
 - ②「GR2」: グループ切換スイッチ 2 (→「グループ設定をする」(右記))
 - ③「子機」: 子機／親機切換スイッチ (→「子機／親機を設定する」(右記))
 - ④「音声」: 音声 (モノラル／ステレオ) 切換スイッチ
 - ⑤「左右」: 左右 (左音声／右音声) 切換スイッチ (→「スピーカーの出力を設定する」(右記))

※ サービス用のボタンです。通常は使用しません。

～ AC(交流)

本機底面

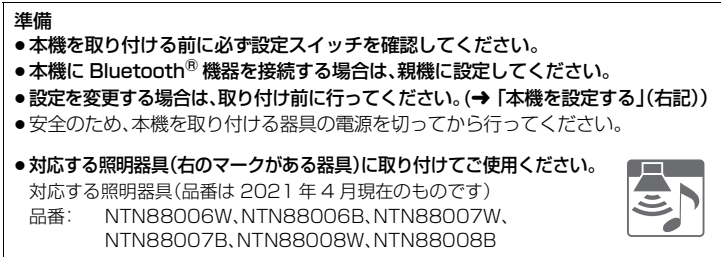


- 1 取り付け用ピン位置確認用マーク
- 2 スピーカー

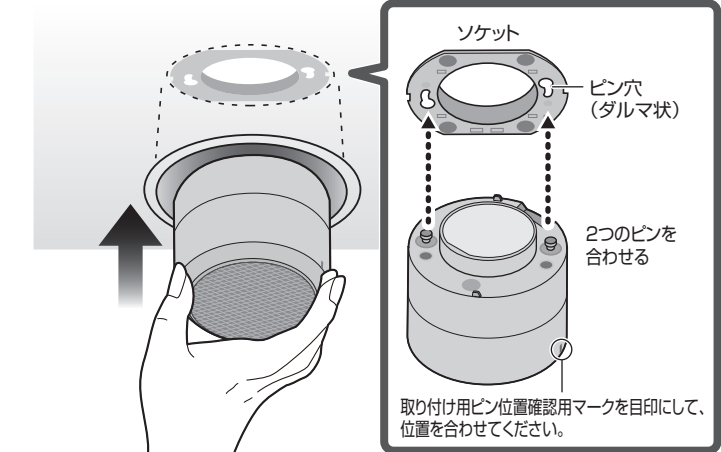
著作権など

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。その他、本文中に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

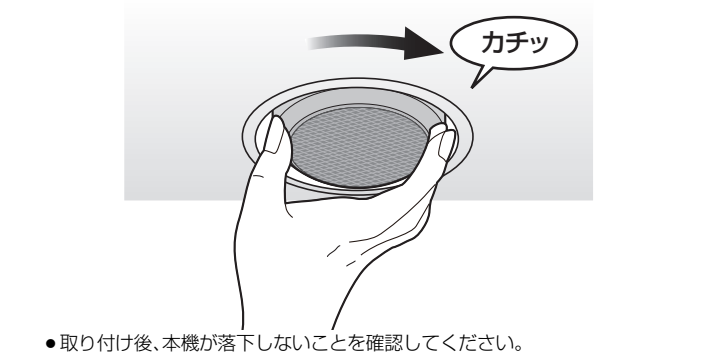
本機をソケットに取り付ける



- 1 本機をソケットに装着する
 - 本機の取り付け用ピンとソケットのピンバ(ダマバ)を合わせて、まっすぐに挿入してください。



- 2 カチッと音がするまで本機を矢印方向に回し、確実に取り付ける

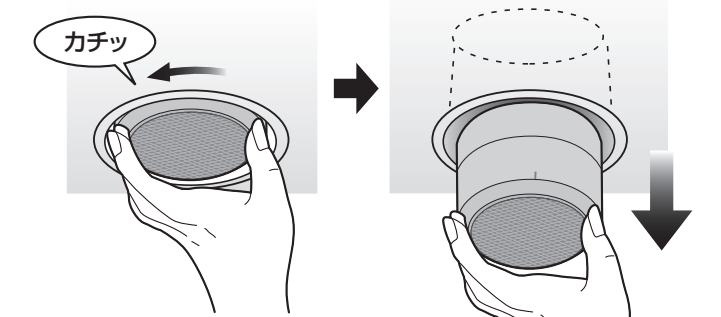


- 取り付け後、本機が落下しないことを確認してください。

本機をソケットから取り外す

電源を切って、本機やその周辺が冷めてから取り外してください。

カチッと音がするまで本機を矢印方向に回して、取り外す



- 本機から手を離さないでください。落下によるけがのおそれがあります。

本機の電源を入れる／切る

本機の電源の入／切は電源供給元の電源スイッチ(壁スイッチなど)で行います。

- 準備
- 本機を電源供給元のソケットに取り付けておく。

本機の電源を入れるには
本機につながる電源供給元の電源スイッチを入れる
●グループ設定を変更した場合は、電源を入れたときに設定したグループの番号を音声でお知らせします。(→「グループ設定をする」(右記))

本機の電源を切るには
本機につながる電源供給元の電源スイッチを切る

本機を Bluetooth® 機器に接続する

- 準備
- Bluetooth® 機器は本機になるべく近づけておく。
 - 必要に応じて、機器の取扱説明書で操作方法などを確認しておく。

本機を Bluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する

- 1 本機の電源を入れる (→「本機の電源を入れる／切る」(上記))
- 2 Bluetooth® 機器の電源を入れ、Bluetooth® 機能を有効にする
- 3 Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューから、機器名「NTN88004-1」を選択する
 - 「NTN88004-1」が表示される前に BD アドレス(Bluetooth® Deviceアドレス: 機器によって表示される固有の英数字)が表示される場合があります。
 - Bluetooth® 接続が完了すると、本機から確認音が流れ、ペアリング(登録)完了して接続状態になります。
- 4 本機と Bluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する

- お知らせ
- 表示される機器名の末尾の数字は現在設定されているグループの番号です。上記の例では、「グループ 1」に設定されていることを示します。
 - 本機の電源を入れて2分以内に機器の接続が完了したときは本機のペアリング(登録)モードが解除されます。(タイムアウト) 再度、登録をやり直してください。
 - 本機に登録できる Bluetooth® 機器は最大8台です。最大登録数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

登録済みの Bluetooth® 機器と接続する

- 1 本機の電源を入れる (→「本機の電源を入れる／切る」(上記))
 - 2 「本機を Bluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する」(→ 上記)の手順 2, 3 を行う
 - 3 本機と Bluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する
- お知らせ
- 本機は、最後に接続した機器を記憶しています。手順 1 (→ 上記)のあとに自動接続する場合もあります。
 - 本機の電源を入れて2分以内に機器の接続が完了しなかったときは本機のペアリング(登録)モードが解除されます。(タイムアウト) 再度、接続をやり直してください。

音声を聴く

Bluetooth® 機器の音声を本機から出力します。

- 1 Bluetooth® 機器と本機を接続する (→「本機を Bluetooth® 機器に接続する」(左記))
 - 2 Bluetooth® 機器側で、聴きたい音楽や動画などを選んで再生する
 - 本機から、再生した音楽や動画の音声出力されます。
- お願い
- 音量を最大近くまで上げると、音楽などがひずんで聴こえることがあります。その場合は、ひずまずに聴こえるまで音量を下げてください。

●お知らせ

- 音量は Bluetooth® 機器側で設定してください。
- Bluetooth® 機器で動画再生時、映像に対して音声がずれて聴こえる場合があります。(別売のワイヤレス送信機(品番: NTN88005)を Bluetooth® 機器に音声接続コードで接続して使うと、遅延が改善されます)

本機を設定する

本機を複数台で使用したりする場合に、設定スイッチを使って本機の設定を変更します。

準備

- 本機をソケットから取り外しておく。

●お知らせ

- 設定スイッチはつまようじなど先の細いもので操作してください。

グループ設定をする

無線接続のグループを設定します。グループを変更することにより、隣近所などのスピーカーとの誤接続を防止します。

- お買い上げ時は「グループ 1」に設定されています。

- 1 2つのグループ切換スイッチを操作して、グループを設定する
 - ①「GR1」(グループ切換スイッチ 1)
 - ②「GR2」(グループ切換スイッチ 2)
- 2 本機の電源を入れ、設定したグループ番号を確認する

	グループ			
	1	2	3	4
グループ切換スイッチ 1	OFF	ON	OFF	ON
グループ切換スイッチ 2	OFF	OFF	ON	ON

- グループ切換スイッチの ON / OFF の組み合わせでグループを設定します。

●お知らせ

- 別売のワイヤレス送信機(品番: NTN88005)と接続して使用する場合は、同じグループに設定してお使いください。
- お使いの Bluetooth® 機器によっては、グループ設定を変更した場合でも機器に表示されるグループ番号がすぐに更新されないことがあります。(再度ペアリングすると更新されます)

子機／親機を設定する

音声再生時の子機／親機を設定します。(グループには親機が 1 台必要です)

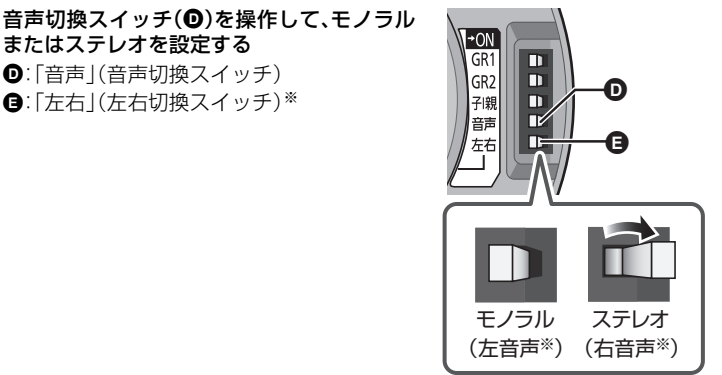
- お買い上げ時は「子機」に設定されています。

子機／親機切換スイッチ(●)を操作して、子機または親機を設定する

- 「子機」(子機／親機切換スイッチ)
- 「子機」に設定すると、工場出荷設定に戻ります。(Bluetooth® 機器のペアリング情報が消去されます)
- 別売のワイヤレス送信機(品番: NTN88005)と接続して使用する場合は、ワイヤレス送信機が「親機」になりますので、本機の設定を「子機」にしてお使いください。

スピーカーの出力を設定する

- スピーカーからの音声出力形式を設定します。
- お買い上げ時は「モノラル」に設定されています。
- 使用するスピーカーが 1 つのときは、「モノラル」にしてお使いください。



- 左音声／右音声を設定するには
左右切換スイッチ(●)を操作して、ステレオ音源再生時に左音声、右音声を入力するスピーカーを設定することができます。
※ 左右(左音声／右音声)の設定は音声で「ステレオ」に設定した場合にのみ、設定することができます。

音声切換スイッチが「ステレオ」のときに、左右切換スイッチを設定する

- お買い上げ時は「左音声」に設定されています。

複数のワイヤレススピーカーを使用する

別売のワイヤレススピーカーとペアリングして、複数のスピーカーで使用するができます。(推奨接続台数: 最大 8 台まで)

- 1 各ワイヤレススピーカーのグループを合わせる
- 2 親機、子機を設定する
 - 親機: Bluetooth® 機器と接続するスピーカー
 - 親機: それ以外のスピーカー(親機とペアリングして使用します)
- 3 音声出力(ステレオまたはモノラル)を設定する
 - ステレオで楽しむ場合は、左右(左音声／右音声)の音声出力も設定してください。
- 4 各ワイヤレススピーカーの電源を入れる
 - 親機と子機の電源スイッチが別の場合は、先に子機の電源を入れてから親機の電源を入れてください。
 - 子機は自動的に親機とペアリングします。
- 5 Bluetooth® 機器と親機を接続し、音声を楽しむ (→「音声を聴く」(左記))

工場出荷設定に戻す

本機を廃棄したり譲渡するなど、本機をお買い上げの状態に戻す場合に行います。

準備

- 本機をソケットから取り外しておく。

- 1 子機／親機切換スイッチを操作して本機を「子機」に設定する (→「子機／親機を設定する」(左記))
- 2 本機をソケットに取り付け、本機の電源を入れる (→「本機の電源を入れる／切る」(左記))
 - 「子機」に設定して電源を入れると、工場出荷設定に戻ります。(Bluetooth® 機器のペアリング情報が消去されます)

■お願い

- Bluetooth® 機器を本機に再度登録するためには、その機器側で登録情報(機器名: NTN88004-1)を消去してから、再度 Bluetooth® 機器に本機を登録してください。(→「本機を Bluetooth® 機器に接続する」(左記))
- 表示される機器名の末尾の数字は現在設定されているグループの番号です。上記の例では、「グループ 1」に設定されていることを示します。

故障かな！?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と Bluetooth® 機器を機器登録／接続し直してください。(→「本機を Bluetooth® 機器に接続する」(左記)) ●Bluetooth® 機器側が「A2DP」プロファイルに対応しているか、確認してください。 ●複数台で使用している場合、グループ設定が同じになっているか確認してください。(→「グループ設定をする」(左記)) ●子機の電源を切っていないか。子機の電源を入れてから、親機の電源を入れてください。 ●親機、子機の電源を入れ直してください。
音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ●Bluetooth® 機器で音量を上げてください。
音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●Bluetooth® 通信使用可能距離(約 10 m)を超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。
雑音が多い	<ul style="list-style-type: none"> ●使用していない無線 LAN 機器の電源を切ってください。
音質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●対応する器具のソケットにきちんと取り付けられているか確認してください。(→「本機をソケットに取り付ける」(左記)) ●親機、子機の電源を入れ直してください。
Bluetooth® 機器と接続されない	<ul style="list-style-type: none"> ●Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューなどから本機登録情報をいったん消去し、登録をやり直してください。 ●→「本機を Bluetooth® 機器に接続する」(左記)) ●グループ設定が同じになっているか確認してください。(→「グループ設定をする」(左記))
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源供給元(壁スイッチなど)のスイッチが ON になっているか確認してください。 ●対応する器具のソケットにきちんと取り付けられているか確認してください。(→「本機をソケットに取り付ける」(左記))

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。(ハ)この商品の出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご相談先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。(イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷(ロ)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫黄ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷(ホ)本書の不添付がない場合(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書き替えられた場合(ト)離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 修理ご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。※この保証書は、本書に転写した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。※This warranty is valid only in Japan.